



認定看護師だより



糖尿病看護認定看護師 米村 八重子

公立玉名中央病院
世界糖尿病デー
平成28年11月14日
9時～11時半
正面玄関大ホール
で開催されました。

「生活習慣を見直し糖尿病を予防
しよう!」という趣旨で、年に1度、
専門職者が健康相談を行います。



栄養士さんの
お話は
わかりやすい



看護師・薬剤師
理学療法士・栄養士に
より参加された方々
と日頃の生活につい
てお話しをしました。



*写真は了承を得て掲載しています。

経口抗がん薬投与時の暴露対策について



がん化学療法看護認定看護師 山崎 文光子

抗がん薬は、がん細胞の増殖を阻止すると同時に正常細胞に対しても発がん性・催奇性・生殖毒性・臓器障害などの毒性があります。そのため、職業的に抗がん薬を取り扱うスタッフや治療を受ける患者やその家族にも身体に影響を及ぼすことが懸念されています。

抗がん薬での暴露はどんな場面で起こりやすいの？

- パッケージから取り出すとき
- 錠剤を割ったり、つぶしたりしたとき
- カプセル剤の中身をカプセルから取り出すとき



内服投与ではどんなことに気をつければいいのか？

投与介助時



- 経口薬は、**基本的には患者に自分で内服してもらうようにする。**
- 介助が必要な場合は、**薬剤の飛散が生じる可能性があるため手袋を着用して可能な限り直接薬剤には触れないようにする。**

保管・廃棄

- 自宅で保管する場合：自宅では子供や高齢者が間違えて内服しないよう**厳重に保管**するように指導する。
- 薬剤の廃棄：使用しなくなった抗がん薬は、家庭ゴミに廃棄するのではなく、**医療施設に届ける**ように指導する。

